【2022年11月 月間予定表 ―東野校― 】◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

11月の予定		
1	火	● 第5回Vもし受験期間
2	水	休校日
3	木	
4	金	
5	土	保護者会　　土曜特訓⑤（椚辻北校）
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	休校日
10	木	● 第4回実力テスト受験期間
11	金	『新中1準備講座』開始（小6生対象）
12	土	『定期テスト攻略講座』（音羽・花山中対象）
13	日	『定期テスト攻略講座』（音羽・花山中対象）
14	月	
15	火	
16	水	休校日
17	木	
18	金	
19	土	『定期テスト対策講座』（安祥寺中対象）
20	日	
21	月	● 進路相談会開始（受験生対象）
22	火	
23	水	休校日
24	木	
25	金	
26	土	土曜特訓⑥（椚辻北校）
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	休校日

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【9月度のMVP】

●中1　H・Y　くん

*「習熟確認テスト」で**見事ランクイン！***

●小6　I・A　くん

*9月算数テストで**見事ランクイン！***

●小5　Y・N　さん
　小4　S・S　くん
　小4　O・K　くん

*9月算数テストで**満点1位！！！***

11月行事について

●進路相談会

学校の三者面談に先がけて受験校の作戦会議を行います。最新情報をご提供いたします。

【 神様に好かれる人 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。
いきなりですが、神様に好かれる人って、どんな人だと思いますか。
薩摩藩（鹿児島県）＆長州藩（山口県）を中心とする明治新政府勢力。
VS
会津藩（福島県）＆庄内藩（山形県）を中心とする徳川幕府を支えた勢力。
この両者の戦いを戊辰戦争といいます。勝ったのは、新政府勢力です。
ここで、ひとつ奇妙なことがあるのです。
負けた庄内藩には敵である薩摩藩のボス、西郷隆盛を神様として祀った神社があるんです。
戦争で負けてるのに、敵を神様として祀るって一体そこに何があったのでしょうか？
負けた庄内藩の戦後処理に当たったのは薩摩藩でした。
かつて薩摩藩邸を焼き討ちにし、戊辰戦争でも新政府軍に多大な損害を与えた庄内藩。
庄内藩主・酒井忠篤（ただずみ）は、切腹の覚悟を決めて、薩摩藩のボス、西郷隆盛の前に現れました。
生きては帰れないであろう……
負けた側のボス、酒井忠篤は切腹する覚悟が決まっていたのです。
しかし、平伏した酒井忠篤が顔を上げると、そこにあったのは……
西郷隆盛の穏やかな表情でした。
西郷の表情が、なごんでいる。
「悪かったとおわかりになれば、それで結構。切腹して詫びるなんて、とんでもないこと」
？？？？？？？？
続いて、庄内藩が武器一切の目録を差し出すと、
「貴藩は、北方からのロシアの攻略に対する備えとなる藩です。この武器は、すべてそのまま保管しておいてください」
え、武器も没収されないんですか！？
庄内藩を、敵ではなく、新しい時代の同胞として遇する西郷の誠実な態度に、
庄内藩の藩主はじめ家臣一同、涙を流して感動したと言われています。
この時の感動が、戦禍にまみれた庄内の地を癒しました。
敗者でありながら、庄内藩には愛が溢れました。
この感動が100年以上語り継がれ、西郷を祀る神社が作られたのです。

明治3年には、藩主・酒井忠篤自らが、78名の藩士を引き連れて、西郷の教えを乞いに鹿児島を訪れています。西郷ドン、色々教えてくださいと。
そして、西郷の教えを文字に記して『南洲翁遺訓（なんしゅうおういくん）』として制作。
これを全国を歩き回って配ったのです。
西郷の庄内藩に対する姿勢も素晴らしいですが、庄内藩の恩の返し方も粋です。
『南洲翁遺訓』には、西郷の哲学がおさめられています。
例えば、
「人を相手にせず、天を相手にせよ。天を相手にして、己を尽くし人を咎（とが）めず、我が誠の足らざるを尋（たず）ぬべし」
常に天を相手にするように心がけよ。天を相手にして自分の誠を尽くし、決して人を咎（とが）めるようなことをせず、自分の真心の足らないことを反省せよと。
西郷隆盛は、あれだけの大事業を成し遂げながら、一冊の本もこの世には遺していません。
しかし、庄内（山形県）の人々が西郷の生き方・考え方を語り継いでくれたおかげで、私たちは、西郷の考え方を知ることができたのです。
強い立場になったものがやるべきことは、相手の気持ちをいたわることです。
そんな武士道を持った日本人を生みだした日本の歴史そのものに、心から拍手したい気分です。
憎しみの連鎖は愛によって断ち切れるんです。
八百万（ヤオヨロズ）といわれるように、なぜ日本には神様が沢山いるのか、その理由がわかりました。
相手を心から思いやった人が神様になるんです、この国は。

人を許すってとても難しいことですよね。
ついつい感情的になって怒ってしまいます。
「許す」の語源は「緩ます」。怒りの緊張状態を緩めるという意味。
実は「許す」って人に対して使う言葉ではなく、自分に対して使う言葉なんですね。
相手にどんな感情を持つかは自分次第ってこと。
たとえどれほどのツライ仕打ちを受けても、笑って許せる。
そんなひとが神様は大好きなんです。

塾長　山田　大介